

血管撮影室

病棟の特徴

当院の血管撮影室は、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科など、複数の高度な専門診療科と密接に連携し、多様な血管疾患の診断と低侵襲治療を担う最重要部門です。

2室ある血管撮影室は、24時間365日体制で心筋梗塞や脳卒中といった緊急症例に即座に対応できる体制を完備しています。経験豊富な医師、臨床工学技士、放射線技師、そして専門知識を持つ血管撮影室看護師が一体となり、専門性の高いチーム医療によって、カテーテルを用いた診断・治療を安全かつ効率的に提供しています。



看護体制

- 専門資格保持者による高度な看護実践: 4名の血管撮影室看護師のうち、3名がインターベンションエキスパートナース (INE) の資格を保有。高度な専門知識と最先端の技術に基づいた、質の高いカテーテル治療看護を実践しています。
- 不安に寄り添う患者中心のサポート: 私たちは、単に医師の指示のもと動くだけでなく、患者さんの不安を軽減するための最も心強いパートナーであることを目指しています。治療説明やきめ細やかなコミュニケーションを通じて、患者さんの主体的な治療参加を支援しています。
- 術前から術後までの一貫したサポート体制: 治療予約段階でのカテーテル前訪問から、治療後の経過観察、翌日の術後訪問に至るまで、病棟看護師とも緊密に連携。治療後の止血トラブルなどに迅速に対応し、患者さんが安全に回復できるよう、一貫したケアを提供しています。



教育体制

INE（インターベンションエキスパートナース）資格取得を病院全体で積極的に支援しており、高度なカテーテル治療・検査に関する専門知識と技術の習得を強力に後押しします。また、RRT（緊急対応チーム）への参画や、血管造影室での急変時対応シミュレーションを定期的に実施。チーム全体のスキルアップを図り、常に最高のパフォーマンスを発揮できるプロフェッショナル集団を育成しています。



取り組み

- 低侵襲治療の積極的な導入: 体への負担が少ない血管内手術を積極的に実施し、患者さんの早期回復とQOL向上を目指しています。
- 質の高い画像診断と治療: X線透視装置とカテーテルを用い、血管内部を正確に画像化することで、正確な診断と効果的な治療の推進に貢献しています。

アピールポイント

- 高度な専門知識と技術: 心臓血管、末梢血管、脳血管など、多様な血管疾患の診断から治療まで包括的に対応でき、幅広い専門スキルを習得できます。
- 真のチーム医療の実現: 豊富な経験を持つ医師、専門知識を持つ臨床工学技士・放射線技師、そしてINE専門看護師が一体となり、安全で質の高い医療を提供しています。
- カテーテル治療のスペシャリスト育成: INE資格取得支援と実践的な教育体制により、カテーテル治療看護のプロフェッショナルとしてのキャリアを確立できます。
- 患者さんの「安心」を創出: 術前から術後まで、専門看護師が患者さんに寄り添うきめ細やかなケアを実践し、患者さんの不安を軽減し、安心感を提供することに大きなやりがいを感じられます。

高度な専門性を極めたい、最先端の医療に挑戦したい——もし、この分野の看護に興味を持たれたなら、ぜひ一度私たちのプロフェッショナルチームを訪ねてみませんか。

～ インターベンションエキスパートナース (INE) とは？ ～

「インターベンションエキスパートナース (INE)」という特別な資格をご存知ですか？

INEは、カテーテルを用いた高度な検査や治療において、専門的な知識と高い技術、確かな判断力を持つ看護師に与えられる資格です。治療の現場において、INEは単に医師の指示に従うだけでなく、治療の精度と効率、そして安全性を支える重要な存在です。

私たちは、患者さんの最も心強いパートナーとなることを目指しています。

「カテーテル治療ってどんなことをするんだろう？」「本当に大丈夫かな？」—そんな患者さんの不安を少しでも和らげられるように、治療前からきめ細やかなサポートを行っています。治療前のカテーテル前訪問で、不安な気持ちをじっくり伺い、治療内容について丁寧に説明します。治療後も病室を訪問し、経過を一緒に確認することで、患者さんの早期回復を専門的にサポートします。

病棟の看護師とも緊密に連携を取りながら、患者さんが安心して安全に治療を受けられるよう、日々知識と技術を磨く。患者さんの不安に寄り添い、専門的な視点からチーム医療に貢献する。それがINEのやりがいであり、当院が目指すカテーテル治療看護の形です。